



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 永大化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 7877 URL <https://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦 義則

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田中 敏幸

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,087	2.9	191	16.0	174	23.1	118	22.2
2019年3月期第2四半期	3,974	0.5	165	28.8	227	56.3	152	33.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 95百万円 (17.8%) 2019年3月期第2四半期 115百万円 (15.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	82.74	
2019年3月期第2四半期	120.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,130	6,913	75.7
2019年3月期	8,970	6,620	73.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,913百万円 2019年3月期 6,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		65.00	65.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	8.7	360	17.5	360	1.1	260	0.1	181.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,460,000 株	2019年3月期	1,460,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	20,204 株	2019年3月期	193,944 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,431,251 株	2019年3月期2Q	1,266,190 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、個人消費・設備投資も持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、海外経済は、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速、不確実な政治情勢などの影響を受け、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、自動車用フロアマットメーカーとして顧客のニーズに沿った新製品の開発から既存品の高付加価値商品化を継続的に創出し、また異型押出成形加工の技術力強化およびプラスチック製品の成長分野を深堀し事業基盤の一層の強化に取り組み、積極的な営業展開を進めるとともに収益体質の向上に努めてまいりました。

その結果、売上高40億87百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益1億91百万円（前年同期比16.0%増）、経常利益1億74百万円（前年同期比23.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億18百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 自動車用品関連

自動車用品関連につきましては、自動車用フロアマットの売上は、国内自動車販売台数が伸び悩み、10月の消費税増税の駆け込み需要も大きく見られなかったことによる受注減少の在庫調整および新型車の販売効果も少なかったことなどから、売上高28億94百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益1億17百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

② 産業資材関連

産業資材関連につきましては、半導体関連部材の電子部品業界において、一部で米中貿易摩擦による生産調整の受注減少の影響はありましたが、下水道の老朽化および長寿命化対策を背景に、下水道補修用部材の売上は順調に受注を伸ばしており、また、2019年4月に子会社化した合成木材製品を展開する株式会社K&Mのデッキ材やフェンス材のエクステリア向け製品の売上も加わったことなどから、売上高11億92百万円（前年同期比34.4%増）営業利益73百万円（前年同期比373.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保、および健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、91億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億60百万円の増加となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して3億63百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少2億69百万円、受取手形及び売掛金の減少79百万円、未収入金の減少21百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して5億23百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加5億円、無形固定資産の増加30百万円、繰延税金資産の減少35百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、22億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億33百万円の減少となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して5億62百万円の減少となりました。その主な要因は、電子記録債務の減少4億23百万円、未払法人税等の減少52百万円、その他の減少63百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して4億29百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金の増加4億39百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、69億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億93百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加36百万円、自己株式の減少2億12百万円によるものであります。当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保、および健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は18億17百万円と前連結会計年度末と比較して2億69百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益が1億67百万円、減価償却費1億15百万円、賞与引当金の減少15百万円、役員退職慰労引当金の減少34百万円、売上債権の減少1億89百万円、たな卸資産の減少74百万円、仕入債務の減少5億14百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における資金の支出は1億22百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して2億32百万円の収入減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出88百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は1億3百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して27百万円の支出減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入金の返済による支出17百万円、配当金の支払による支出82百万円により、当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は99百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して72百万円の支出増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想については、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,086,734	1,817,726
受取手形及び売掛金	1,646,650	1,567,303
商品及び製品	833,188	818,651
仕掛品	162,202	174,534
原材料及び貯蔵品	777,986	787,660
未収入金	82,761	61,493
その他	60,706	58,968
流動資産合計	5,650,231	5,286,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	612,695	753,341
土地	1,544,809	1,842,844
その他（純額）	495,521	556,891
有形固定資産合計	2,653,026	3,153,077
無形固定資産		
土地使用権	212,231	201,567
その他	15,813	57,004
無形固定資産合計	228,044	258,572
投資その他の資産		
繰延税金資産	93,146	57,761
投資その他の資産	346,286	375,040
投資その他の資産合計	439,432	432,802
固定資産合計	3,320,503	3,844,452
資産合計	8,970,734	9,130,791
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	637,180	626,712
電子記録債務	693,479	269,630
短期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	83,962	31,243
賞与引当金	116,566	110,333
役員賞与引当金	5,800	—
その他	246,620	183,259
流動負債合計	1,833,609	1,271,179
固定負債		
長期借入金	100,000	539,034
繰延税金負債	—	34,794
再評価に係る繰延税金負債	281,303	281,303
役員退職慰労引当金	54,578	20,162
退職給付に係る負債	81,001	70,755
固定負債合計	516,883	946,050
負債合計	2,350,492	2,217,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,271,253
利益剰余金	3,818,509	3,854,641
自己株式	△237,677	△24,760
株主資本合計	6,026,286	6,342,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,621	38,027
繰延ヘッジ損益	△2,005	2,576
土地再評価差額金	476,930	476,930
為替換算調整勘定	100,012	69,165
退職給付に係る調整累計額	△17,603	△15,972
その他の包括利益累計額合計	593,954	570,726
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,620,241	6,913,561
負債純資産合計	8,970,734	9,130,791

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,974,559	4,087,937
売上原価	2,978,660	3,077,717
売上総利益	995,899	1,010,219
販売費及び一般管理費	830,853	818,686
営業利益	165,045	191,532
営業外収益		
受取利息	107	266
受取配当金	2,153	2,427
受取賃貸料	2,222	2,222
為替差益	55,841	—
その他	2,961	5,752
営業外収益合計	63,287	10,668
営業外費用		
支払利息	249	1,709
為替差損	—	23,047
その他	618	2,444
営業外費用合計	867	27,201
経常利益	227,465	174,999
特別利益		
固定資産売却益	2,778	1,895
投資有価証券売却益	—	39
特別利益合計	2,778	1,934
特別損失		
固定資産売却損	—	54
固定資産処分損	444	9,285
特別損失合計	444	9,340
税金等調整前四半期純利益	229,799	167,593
法人税、住民税及び事業税	51,217	17,328
法人税等調整額	26,333	31,839
法人税等合計	77,551	49,167
四半期純利益	152,247	118,425
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	152,247	118,425

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	152,247	118,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,349	1,405
繰延ヘッジ損益	6,683	4,582
為替換算調整勘定	△26,738	△30,846
退職給付に係る調整額	3,993	1,630
その他の包括利益合計	△36,410	△23,227
四半期包括利益	115,837	95,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,837	95,197
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	229,799	167,593
減価償却費	91,028	115,074
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,684	△15,906
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,488	△34,416
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△5,800
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△58,950	△8,615
受取利息及び受取配当金	△2,261	△2,693
支払利息	249	1,709
為替差損益(△は益)	△5,903	2,777
有形固定資産除売却損益(△は益)	△2,334	7,445
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△39
売上債権の増減額(△は増加)	54,726	189,904
たな卸資産の増減額(△は増加)	54,480	74,892
仕入債務の増減額(△は減少)	△276,487	△514,509
その他の資産・負債の増減額	96,560	△30,103
小計	139,711	△52,689
利息及び配当金の受取額	3,325	3,596
利息の支払額	△387	△1,712
法人税等の支払額	△32,081	△71,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,567	△122,397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△134,411	△88,223
有形固定資産の売却による収入	7,447	4,889
無形固定資産の取得による支出	△3,027	△5,500
投資有価証券の取得による支出	△578	△20,595
投資有価証券の売却による収入	—	10,634
非連結子会社出資金の払込による支出	—	△10,801
その他	△216	6,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,786	△103,436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△50,000	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,000	△17,460
自己株式の取得による支出	△1	—
配当金の支払額	△69,640	△82,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,641	△99,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	△955	△9,196
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△48,815	△334,784
現金及び現金同等物の期首残高	1,762,390	2,086,734
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	—	65,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,713,574	1,817,726

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月10日付で当社を株式交換完全親会社として株式会社K&Mを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が212,916千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,087,234	887,325	3,974,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,087,234	887,325	3,974,559
セグメント利益	149,471	15,574	165,045

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,894,979	1,192,958	4,087,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,894,979	1,192,958	4,087,937
セグメント利益	117,804	73,728	191,532

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、株式会社K&Mを取得し、新たに連結範囲に含めております。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「産業資材関連」のセグメント資産が848,479千円増加しております。